

## 施設の視察・見学

九州大学の水素プロジェクトが目指す水素利用社会の実現は、社会のシステムを大きく転換するものであるため、人材育成、研究開発と共に普及啓発を使命に掲げ、学外からの視察を積極的に受け入れています。燃料電池など水素エネルギー関連技術の進歩を知ることができる「水素社会ショールーム」やキャンパス内のエネルギー情報を「エネルギーの見える化」画面として公開するなど、水素エネルギーに対する正しい理解や到来する水素エネルギー社会のイメージを広める活動にも取り組んでいます。

また、小・中・高校生、一般市民向けに水素に関する模擬講義を実施し、社会に開かれた大学としての取り組みにも力を入れています。

### ○平成 29 年度 九州大学水素プロジェクト訪問者数・件数

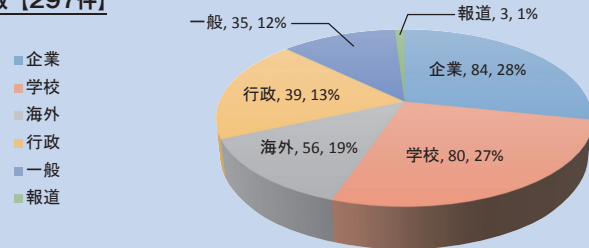
- ・平成29年度の見学・視察実績は、297件7390人。1日平均およそ30人の来訪者数。
- ・九大水素プロジェクトがスタートしてからの件数・人数は、延べ約3250件、約56,000人。
- ・視察件数が最も多いのは、企業84件（734人）で全体の約30%、人数では、学校4484人（80件）で全体の約60%。海外は、15カ国から56件（851人）。過去最多。

↓  
**九大のシンボリックな活動として、大学全体に貢献！**

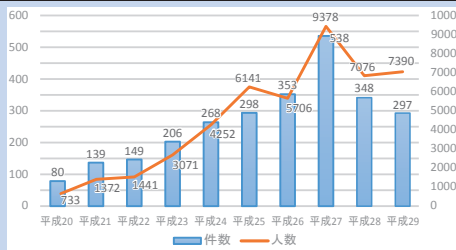
#### 平成29年度実績

企業	84件	734人
学校	80件	4484人
海外	56件	851人
行政	39件	294人
一般	35件	1020人
報道	3件	7人
	297件	7390人

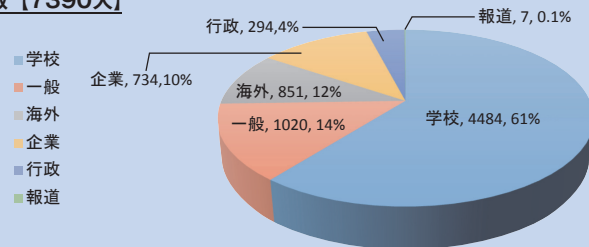
#### 件数【297件】



#### 水素プロジェクト訪問者数・件数の推移（平成20年度～29年度）



#### 人数【7390人】



### ○視察・見学の様子（一部紹介）※肩書きは当時のもの



文部科学大臣 松野博一様



MIT教授の方々



英国大使館



衆議院文部科学委員会



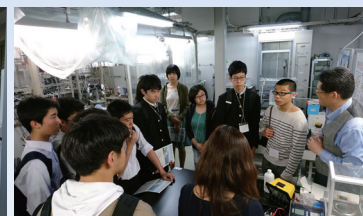
文部科学省 新妻政務官様



中国科学技術部 王志剛部長(大臣)



さくらサイエンスプラン  
(東南アジア高校生)



英進館新一年生・九大見学会



アカデミックフェスティバル2018



いとしまチャレンジ学教室



糸島市水素エネルギー体験学習会

